

## 「ICT化」 第18回

ポケモンGOが流行しているが、位置情報の利用にはさまざまなものがある。いつどこに行ったか、何を撮影したかなどは全部記録され、一人一人が〈ビッグデータ〉作成に協力しているわけだ。NTTのCMで、登園してくる園児をロボットのかまちゃん顔認証、表情照会によって、登降園管理、健康管理している未来の姿が流されている。

教育のICT (Information and Communication Technology) 化というところ、エクセルの利用、電子黒板やデジタル教科書などイメージされるが、そんな生やさしいものではなく、教育再生実行会議提言では、「頭脳労働の機械化や、感覚・機動性・知性が強化されたロボットによる人間活動の代替など、現在の常識を覆す破壊的技術が比較的近い将来に実現する可能性」を前提に、「今後は、人間が〔コンピュータや人工知能より〕優位性を持つ資質・能力



を磨き、高めることが、ますます必要になります」としている。このための〈アクティブラーニング〉が、より人間的なものになるのか、それとも高度なICT化によるただの〈プログラム学習〉になるのか、矛盾があり、「論点」にすべきである。

〈教師の仕事〉もICTで機械に取って変えられようとしている。立ち歩き、遅刻不登校など位置情報で「判断」され、ビッグデータとの照合により〈指導〉も〈評価〉も機械に〈される〉ような未来でいいのだろうか。(研究部・加藤聡一)

### 参考文献

- ①教育再生実行会議「これからの時代に求められる資質・能力と、それを培う教育、教師の在り方について(第7次提言)」2015年5月14日。http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusatsei/teigen.html。[参考資料] 14～15、25～31、冒頭。
- ②「教育課程企画特別部会における論点整理について(報告)」2015年8月。http://www.mext.go.jp/b\_menu/singi/chukyoku/chukyoku3/053/sonota/1361117.htm。特「補足資料(5)」参照。